



お客様と共に創り上げた 航空機タイヤソリューション



03 Global COO 防災の日講話

04 お客さまの声

05 新たなブランドメッセージ
Solutions for your journey

06 特集
BRIDGESTONE × JAL
お客様と共に創り上げた
航空機タイヤソリューション

15 JAL様発！
安全でおトクにご利用いただけるサービスをご紹介します！

16 こんにちは アローです！
——ブリヂストンタイヤソリューションジャパン(株)
代表取締役社長 久米 伸吾さん

17 CHASE YOUR DREAM

18 「未来へ向かうブリヂストンの 旅」を体感する」企業博物館
Bridgestone Innovation Gallery オープン

20 工場入場時の安全ルール！

22 企業理念通信
ブリヂストングループ行動規範のMY CODE“マイコード”

24 4工場 記念周年を迎える

26 わが町 わが職場 わが仲間 【Season 2】
——青森県

28 ありがとうの気持ち
読者プレゼント
ご意見紹介



Web版Arrowは
お家やスマホでも見られるよ！
ユーザー名：bridgestone
パスワード：arrow



COVER

特集で取り上げている、航空機タイヤソリューションプロジェクトに関わった6人のメンバーにフォーカス。ぜひ読んでみてください。

※社名/役職名/部署名は 2020年10月5日時点のもの。

※本誌は、森林管理協議会 (Forest Stewardship Council) が認証した森林からのパルプを配合したFSC認証紙を使用しています。



Global COO
防災の日
講話

「複合災害」に備え、
働き方の変化に伴う
対応の見直しを



「グループ防災の日」の位置づけ

9月8日は「グループ防災の日」です。これは、2003年に発生した(株)ブリヂストン 栃木工場の大火災を教訓とし、「二度と火災を起こさない」という強い決意のもと、「全社一斉」、「全員参加」の活動を推進し、防災・防火意識の向上を図る目的で設定されたものです。火災から17年が経過し、グループ内でもこの火災を直接知らない方々が増えてきています。改めてこの活動の意義、思いを伝え、継続していくことが、ブリヂストンで働く我々の使命です。



栃木工場火災について

栃木工場の火災は2003年9月8日の午前12時頃に発生し、鎮火までに丸2日かかりました。消し止めたというよりは、燃えるものがなくなって消えたというものです。この火災により、近隣住民の皆様へ避難していただいたり、地域の消防だけでなく、東京消防庁にも出動いただくなど、多くの方に大変なご迷惑をおかけしました。そして、火災の状況は連日報道され、ブリヂストンへの信頼が失墜したことは言うまでもありません。また、当時この火災や復旧に関わった多くの社内関係者にも辛い記憶として残っています。二度と我々の仲間が誰一人、辛い記憶を持たずに済むようにするためにも、この火災による影響の大きさを改めて認識していただきたいと思います。

最近の出火事故と自然災害の発生状況

ブリヂストンの国内事業所では、近年も公設消防による消火活動が必要な火災が毎年発生しています。今年2月には本社でモバイルバッテリーが発火する事故もありました。工場だけでなくオフィスでも出火リスクが潜んでいることを再認識しましょう。また、本社のような高層階で火災が発生すると、倒壊の危険など二次・三次災害を想定した対応が重要になります。

最近、数十年に一度というような自然災害も毎年のように発生しています。7月に発生した「令和2年7月豪雨」は、熊

本や久留米に工場をもつ私たちにとても他人事ではありません。我々の命を守り、事業を継続していくために、災害がより「大規模」「広域」「連続的」そして「複合的」に発生することも想定し、継続的に防災体制を整備していなくてはなりません。

今年度の防災活動の強化ポイント

水害だけでなく、地震や土砂災害などこれまでの想定を超える自然災害に対して、リスクアセスメントの考え方を基本に、事前にリスクを顕在化し、先手の対策をしていくことが重要です。

更に、今年はCOVID-19の感染拡大も深刻な問題となっています。こうした状況を鑑み、次の2点を強化ポイントとして取り組んでいきましょう。

一つ目は、「有事対応手順の確認、見直し」です。「感染症」プラス「自然災害」といった、複合災害リスクを想定し、有事対応手順が機能するか、確認をお願いします。

二つ目は、「在宅勤務などでの安否確認、避難方法、防災備品などの再確認」です。テレワークなど働き方が変化しており、従来の「備え」や「仕組み」では不足しているという前提に立ち、再確認をお願いします。

安全はすべてに優先する

「安全はすべてに優先する」ということを常に念頭に置いて行動しましょう。品質経営、すなわち安全・防災・環境・品質の活動は事業継続のための基盤です。なかでも、安全・防災は絶対的な基盤になります。この基盤活動を確実に実行していくとともに、COVID-19に伴う働き方の変化にも柔軟に対応し、さらに盤石な体制を築いていきましょう。

一人ひとりをお願いしたいこと

- ▶ 職場の3S (整理・整頓・清掃)
- ▶ ルールの確認・徹底と順守
- ▶ 日頃からの訓練の実施
- ▶ 日常の防災点検・確認の確実な実施
- ▶ 防災意識の更なる強化

職場だけでなくテレワーク環境でも実践をお願いします。

グループ各社に寄せられたお客様の声を紹介します。
更にお客様のご期待に応えられるよう、貴重な情報源として役立てていただければ幸いです。



お客さまの声の全文はWeb版Arrowでご覧ください！
(ユーザー名：bridgestone パスワード：arrow)

- ♥ お礼・お褒めの言葉
- ？ お問い合わせ
- ★ ご指摘・ご要望

♥ お礼・お褒めの言葉

タイヤ性能の違いを実感しました

早速ですが、タイヤの種類を変更することでふらつき現象が起り得ること、また新車付タイヤはふらつき現象を抑える性能が含まれていること、承知いたしました。教えていただいたようにNEXTRYの空気圧を2割高めたと、ふらつき現象が大幅に改善されました。その後20km程走行して元の空気圧に戻してみると、ふらつき現象が再現されました。タイヤ性能の違いで今回のような差があることがわかり、大変勉強になりました。今後タイヤを選ぶときは、車に合った性能の物を「ちゃんと買い」したいと思います。 (埼玉県・男性)

ブリヂストンの対応

From (株)ブリヂストン お客様相談室

スズキ スペースアをご使用のお客様より、新車装着のECOPIA EP150から同サイズのNEXTRYに交換後、車体前後の揺れが気になり出したところ、上記のご返信をいただきました。

♥ お礼・お褒めの言葉

マスクの寄贈に対するお礼

本日、小平市よりデイサービスや居宅介護支援事業所にブリヂストン様から寄付のあったウレタンマスクをいただきました。当社はデイサービスを主な事業としており、国内に約700の事業所があるのですが、新型コロナウイルスの影響でどの事業所もマスク不足で大変困っていました。今回マスクを寄付していただき、従業員一同心より感謝しています。寄付していただいたウレタンマスクは、お客様と接する介護職員等で使用させていただきます。

ブリヂストンの対応

From (株)ブリヂストン お客様相談室

東京都小平市にあるデイサービスの管理者の方より、マスクの寄贈に対しお礼のお手紙を頂きました。

♥ お礼・お褒めの言葉

再びゴルフを楽しめるようになりました

早速お返事いただきありがとうございました。年々飛距離が落ちてきてゴルフが難しく感じるようになり、興味が薄れてきていました。実はこの2～3年レッスンを受けている榎本七郎プロからこのTOUR B Xを紹介いただきました。今まで届かなかったホールもグリーンをとらえられるようになり、再びゴルフが楽しく思えるようになりました。今後更に飛距離アップが望めるボールを発売いただけるようお願いいたします。ありがとうございました。 (神奈川県・男性)

ブリヂストンの対応

From ブリヂストンスポーツ(株) お客様相談グループ

ゴルフボール「TOUR B X」に関するお問い合わせに回答したところ、上記のご返信をいただきました。また、榎本プロはブリヂストンスポーツの契約プロであることも改めてお伝えしました。

♥ お礼・お褒めの言葉

TO：タイヤ館池上

素晴らしい対応でした

本日は急なお願いに親切に、また完璧なお仕事をしていただき、本当に助かりました。対応が素晴らしく、普段出入りしている自動車ディーラーの方々にも見習ってほしいと思うほどでした。私はある企業の役員車の運転手ですが、担当している役員さんがタイヤにも関わりのある部門の方なので、本日のことをお話したところ、大変感心していらっしゃいました。タイヤ館池上店の店内も清潔、快適な空間で素晴らしいです。ありがとうございました。

新たなブランドメッセージとともに、つぎのステージを目指す

新たなブランドメッセージ

BRIDGESTONE
Solutions for your journey

2020年7月、ブリヂストンは新たなブランドメッセージ「**Solutions for your journey**」を発表しました。これまで掲げてきた「Your Journey, Our Passion」（日本語：「あなたと、つぎの景色へ」）に替えて、グループ・グローバル統一で使用していきます。



▼ 新たなブランドメッセージに込めた思い

新たなブランドメッセージは、今後ますます変化し多様化する社会・お客様のニーズや困りごとに対し、先進的なソリューション、つまり解決策の提供を通じて、社会・お客様と共に「新たな価値」を創造しながら、一人ひとりの挑戦・旅（Journey）を支え、持続可能な社会の実現に貢献していきたいというブリヂストンの思いを象徴しています。

このメッセージのベースにある考え方は、「**安心（Care）、信頼（Confidence）、そして創造力（Creativity）で、社会の進歩に貢献する**」こと。ブリヂストンが築いてきた歴史、強みに加えて、さらに豊かな創造力を発揮して、ブリヂストンのこれまでのJourneyをソリューションへとつなげていくことをすべてのステークホルダーの皆さんに約束するものです。

▼ Solutions for your journeyを体現していく

将来にわたって持続的に社会価値・顧客価値を提供し続けていくために、ブリヂストンならではのソリューション事業を強化していくことが求められています。なかでも、お客様にブリヂストンの考えに共感いただき、新しい価値を共に生み出していくことは必要不可欠です。本誌でも、JAL様と取り組んだ「航空機用タイヤソリューション」の事例や、社内外のステークホルダーと共に考え、議論し、研究して新しい価値を生み出していくための拠点として、順次オープンしていくブリヂストン・イノベーション・パークが紹介されています。「ソリューション最前線」を知り、自分たちの持ち場・立場で何ができるのか、どのような新しい価値を生み出すことができるのか、考えていただけたらと思います。

お客様と共に創り上げた 航空機タイヤソリューション

サステナブルなソリューションカンパニーへ、
「第三の創業」の新たな一歩

「サステナブルなソリューションカンパニーとして、2050年にも社会価値・顧客価値を持続的に提供する会社であり続けること」。これがブリヂストンのVisionです。

2020年にスタートした新たなチャプター「Bridgestone 3.0（第三の創業）」では、このVisionの実現に向けて、断トツの商品・サービス・ネットワークというリアルな強みと、最新のデジタル技術との組み合わせによる独自のプラットフォーム「Bridgestone T&DPaaS (Tire & Diversified Products as a Solution)」をベースに、ブリヂストン独自のソリューション事業を強化していくことを目指しています。

今回は、日本航空（株）および（株）JALエンジニアリング（以下、2社を総称してJAL）の航空機整備の知見と、ブリヂストン独自のタイヤ摩耗予測技術を組み合わせ、新たな価値を共創したソリューションサービスをご紹介します。お客様を理解するとはどういうことか、またその過程での課題や意識・行動の変化など共創の実現に至るまでの道のりをプロジェクトメンバーが語ってくれました。「ブリヂストンが目指すソリューションとは何だろう」と一緒に考えてみませんか。

※人物の写真は別の場所で撮影したものです。
実際は、格納庫に入る際にはヘルメットを着用しています。

ブリヂストンメンバー プロジェクトに関わったメンバーの中からプロジェクトリーダーの戸田さんをはじめ、6人のメンバーにお話を聞きました。

JALメンバー プロジェクトに関わった方々の中から、3人の方にお話を伺いました。

（株）ブリヂストン
航空機タイヤエアライン
ソリューション推進部
航空機タイヤエアライン
ソリューション企画ユニットリーダー
戸田 隼人さん
（プロジェクトリーダー）

（株）ブリヂストン
デジタルAI企画部
デジタルAI企画開発ユニット
花田 龍さん

（株）ブリヂストン
Bridgestone T&DPaaS
技術企画部
BS T&DPaaS技術企画第1ユニット
松澤 和貴さん

（株）ブリヂストン
ソリューション品質管理部
モノづくり品質管理・
保証ユニットリーダー
塗師 隆生さん

（株）ブリヂストン
デジタルITプラットフォーム部
データプラットフォーム
開発ユニット
池崎 翔さん

（株）ブリヂストン
航空機タイヤソリューション営業部
航空機タイヤソリューション
営業ユニットリーダー
松本 宣盛さん

（株）JALエンジニアリング
部品サービスセンター
大阪部品計画グループ
溝上 隼也さん

（株）JALエンジニアリング
大阪航空機整備センター整備部
ラインサポートチーム
金澤 聖士さん

（株）JALエンジニアリング
技術部 システム技術室
機装技術グループ
石田 照歩さん

プロジェクト始動 //

航空業界の発展のために、 何ができるか

「航空業界の発展に貢献する、航空機タイヤソリューション」という発想からスタートした、JALとブリヂストンの共創プロジェクト。その軌跡とは――。

航空業界の “明日”を切り拓く

2020年6月、「JALとブリヂストン、タイヤ摩耗予測技術を活用し航空機整備作業を効率化、新たな価値の共創へ」というタイトルでニュースリリースが発表された。これを可能にしたのは、JALとブリヂストンのメンバーで構成された共創プロジェクトだ。

きっかけは、ブリヂストンの石橋秀一執行役副社長（現 Global CEO）が、日本航空株式会社の赤坂祐二常務執行役



B
戸田 隼人さん
（プロジェクトリーダー）

員（現 代表取締役社長 執行役員）にご挨拶に伺った際に、タイヤとフライトデータを活用した新しい価値の共創について、二人が意気投合したことだった。

このソリューションを実現する“断トツの商品”と“断トツのサービス”、そして“デジタル技術”の組み合わせは、ブリヂストンがソリューション事業のプラットフォームとして掲げる「Bridgestone T&DPaaS」を体现するものだ。前例がなく極めてチャレンジングな提案だったが、「Bridgestone 3.0（第三の創業）」でサステナブルなソリューションカンパニーへの“進化”を掲げるブリヂストンには欠かせないステップだった。

早速ブリヂストン内でプロジェクトを立ち上げ、リーダーを務める戸田隼人さんが中心となって、「JALにどのような価値を提供できるか」を模索した。そして2017年12月、JALとブリヂストンの間で秘密保持契約を締結し、航空業界をリードする革新的なオペレーションを目指す共創プロジェクトが始まった。

ブリヂストン独自の技術で 唯一無二のサービスを

JAL・ブリヂストン双方からプロジェクトの担い手を集めたワーキンググループが結成され、詳細な議論を開始したのは、2018年1月のことだ。「ブリヂストンのタイヤの知見を生かし、いかにJALの航空機整備業務の効率化に役立てるか」について、会社や組織の垣根を越えた議論が始まった。通常、航空機用タイヤは、整備士が機体整備の際に擦り減り具合を確認して交換要否を判断する。そのため、突発的にタイヤ交換が必要になることもあり、航空会社は多めにタイヤの在庫を保有しておく必要がある。ブリヂストンのタイヤ摩耗予測技術を用いてタイヤの交換時期を高い精度で予測できれば、JALにとっては整備作業を計画化することができ、業務の効率化やタイヤの在庫削減につながると考えた。

そこでまず、タイヤと航空機のフライトデータを用いて摩耗予測の仮説モデルの構築が進められた。JALエンジニアリング技術部から提供いただいたフライトデータから、摩耗予測モデルの開発を担当する松澤和貴さんが機体の加速度、離着陸の



B
花田 龍さん
（データ分析担当）

回数など必要な要素の取捨選択および補正、重み付けといった処理を行い、タイヤの摩耗予測のロジックを立案。同じくデータ分析担当の花田龍さんがこのロジックに則ってアルゴリズムを組み立てる業務を担当した。実用に即した摩耗予測モデルの構築を目指して、何度も試行錯誤が続けられた。

摩耗予測モデルの有用性を 証明するために

当時を振り返って、花田さんは「正直、初めは不安がありました」と話してくれた。「私はデータ分析担当としてプロジェクトにアサインされました。ビッグデータという『数字をいじればいろいろなことが分かる』という期待を持たれがちですが、実際には明確な目的を決めて、それに合わせて適切なデータを選び取り、適切な手法で分析しないと有益な情報にたどり着くことができません。そのため、まずはJALさんがどのような業務を行っていて、どの部分の意思決定をデータ分析によって、効率化／最適化できるかを理解することが必要でした。業務への理解が深まるにつれて、徐々にアウトプットイメージもよりクリアになっていきました」

1年後の2018年12月には、実際のフライトデータを用いた摩耗予測をもとに業務の効率化とタイヤの在庫削減に貢献できることをシミュレーションで確認し、定量効果を算出。同時に、予測精度の更なる向上も進められた。これにより、JALにも徐々に摩耗予測の仮説モデルが持つ有

用性が認められ、実用化を見据えた本開発へとステップが進められた。



試行錯誤の開発

「まだ現場には落とせません」 現場の思いに応えるために

伊丹空港での運用を目指し、摩耗予測モデルの本開発を進めるプロジェクトメンバー。実際の業務への落とし込みが進むことで新たな壁に直面する。

実際の整備業務を学び、 モデル開発を推進

航空機整備作業を効率化するためのソリューションサービスを本格運用する場として選ばれたのが、伊丹空港だった。伊丹空港において、JALはエンブラエル170とエンブラエル190（以下、E170、E190）という機体を運用しており、本開発はこの2機種での実用化を目指して進められた。

「航空会社にとって、部品の在庫削減は永遠の課題です」と語るのは、伊丹空港で航空機の部品の在庫管理を担当するJALの溝上隼也さん。「飛行機は膨大な数・種類の部品で構成されており、その点数はE170とE190ではおよそ200万点に上ります。航空会社として『部品が切れたから飛べません』というのは、あってはならないこと。しかし、その一方で、在庫を抱えれば抱えるほどさまざまなコストが発生します。『できれば在庫を抱えたくないが、抱えないわけにはいかない』というジレンマに悩まされるなかで、伊丹空港では適切な在庫管理のために部品ごとの交換時期を予測する独自のロジックを組み立て、運用していました。その背景もあり、最初にお話を伺った時から、タイヤの交換時期を高い

精度で予測することを可能にするこのプロジェクトには期待を持っていたんです」

一方、効果的な運用には、航空機整備の現場業務の理解も不可欠だった。戸田さんたちブリヂストンのメンバーは連日現場に張り付いて在庫管理・整備計画、そして実際の整備業務を学んだ。「まずJALさんが普段から業務で使う言葉と意味を教えてもらい、それと合わせて現場の業務を勉強させてもらいました。それにより、JALさんのメンバーとも実際の業務に即した議論ができるようになったと思います」と戸田さんは語る。そして、摩耗予測モデルでタイヤの交換日を高い精度で予測できれば、飛行機が空港に到着する前に交換の準備ができるため、作業の効率化につながることを確認した。あわせて、フライトスケジュールやタイヤ以外の部品の整備スケジュールとも組み合わせるなど、より実用性の高いサービスとなるようブラッシュアップを続けた。

課題を乗り越え、 強固な信頼を築く

ところが、2019年夏を目前に、プロジェクトは大きな課題に直面することになる。

ブリヂストン側で、ある程度の予測精度を確保できていると考えていた摩耗予測モデルだったが、摩耗予測モデルで予測した交換日にタイヤを空港で確認したところ、既に擦り減って交換されていたり、交換が必要になると予測した日にもかかわらずタイヤの溝が基準値以上残っていたり、まだ使えるタイヤがあったりした。つまり、予測したタイヤ交換日とJALの整備士が現場で判断する交換タイミングにずれがあったのだ。これには整備士の立場からプロジェクトに関わっていたJALの金澤聖士さんは、「まだ現場には落とせない」と感じたという。「航空機用タイヤの摩耗は1年を通じて一定ではなく、気温の影響により摩耗の進み具合が大きく変わります。この気温の影響をモデルに精度よく取り入れられていなかったことが大きな誤差の一因でした。ちょうど『形になってきたモデルを現場で検証する』というタイミングでしたが、まだ課題があるなと感じました。日々の航空機の運航を滞りなく行うためには、現場の整備士に負担をかけるわけにはいきませんから」

「まだ現場に落とせません」——。金澤さんがブリヂストンのメンバーに投げかけたその言葉は、空の旅の安全を守る整備士として譲れない思いから出たものだった。

た。少しでも懸念が残るシステムを現場で使うわけにはいかない。それは、「現場目線を貫く」「納得するまで相手と話をして筋を通す」というポリシーを持つ金澤さんの本音だった。

摩耗予測モデルの開発を担当する松澤さんは「まさしく、プロジェクトが進化する転機となった出来事です」と振り返る。「摩耗予測モデルの改良のため、新たにJALさんと予測精度向上ワーキンググループを結成し、扱うデータを見直しました。フライトデータは膨大な種類・量のデータを内包するため、計算ロジックの補正には時間がかかりましたが、少しずつ前に進んでいきました」

また、摩耗予測モデルで算出するタイヤ交換日を整備士が目視で判断する交換タイミングに近づけるためには、JALとブリヂストンがお互いの“常識”をより深く共有することも欠かせなかった。JALの金澤さんは「初めは、同じ『残溝0mm（タイヤが擦り減って交換が必要な状態）』の定義も、私たちとブリヂストンさんでは意味が違ったんです」と話す。「例えば、航空機用タイヤは着陸の衝撃が強いため、着陸時に接地した部分の摩耗が大きくなります。そのため使い続けると周上で不均一に摩耗していくので、一箇所が擦り減ってい

ても、全体で見るとまだ使えることが多いんです。整備士は、タイヤの周上全体を見て、交換基準ギリギリまで使いたいと考える。一方、ブリヂストンさんが提案した当初の摩耗予測モデルでの交換タイミングは、『ある一点が交換基準に達しているかどうか』で判断するため、整備士の判断するタイミングとずれがあったのです。そういった私たちJALの“常識”を予測モデルに取り込むことが必要でし、反対に私たちが把握できていないタイヤの“常識”もあった。つまり、摩耗予測モデルの精度を上げ、実用に耐えるものにするには、お互いの“常識”をすり合わせていく必要がありました」

整備士の業務、考え方をより深く理解するために、戸田さんをはじめとしたブリヂストンのメンバーは伊丹空港の現場に足を運び続けた。その入り込みぶりは徹底的で、「休憩室に入ったら、うちの社員に交じって一緒に休憩している戸田さんがいて驚いたこともあります（笑）」とJALの溝上さんが語るほど。JAL本社からフライトデータをやり取りする役割でプロジェクトに参加していたJALの石田照歩さんも、ブリヂストンメンバーの前のめりな姿勢には舌を巻いたという。「航空機用タイヤの交換作業への立ち会いを何度も依頼される



B
松澤 和貴さん
(摩耗予測モデル開発担当)

など、私たちのオペレーションをゼロから学ぼうとする気迫が、とにかく凄まじかったですね。プロジェクトで実現しようとしていることはデジタルなんですけど、そのアプローチ方法は、いい意味ですごく泥臭いというか……（笑）。でも、その『少しでも前に』という強い意志があったからこそ、私たちもプロジェクトを進められたんだと思います」

サービスの実用化へ //

お客様と向き合い、 新しい価値を提案

摩耗予測モデルが形になっても、それで終わりではない。
プロジェクトはサービスとして実用化され、
そして更なる改善と拡大へと進んでいく。
すべてはお客様のために――。



サービスとしての 実用化を目指して

タイヤの摩耗予測モデルが完成に近づくと一方、サービスの実用化に向けては更に解決すべき課題があった。摩耗予測モデルを使ったサービス全体の品質保証をどのように定めるか、JALの実際の業務で使うためのユーザーインターフェースをどうするか、である。

まず、摩耗予測モデルを使って整備作業を効率化するサービス全体の品質保証の枠組みを定めたのが、品質保証を担当する



B
塗師 隆生さん
(品質保証担当)

当する塗師隆生さんだ。「メーカーであるブリヂストンには“モノ（タイヤ製品）の品質管理”の基準こそありますが、お客様と協働で取り組むサービス（整備作業の効率化）の品質管理については扱ったことがありません。そこで、これまでブリヂストンが行ってきた“ものづくりの品質管理”を参考に試行錯誤して、予測数値の誤差範囲やトラブル発生時の対応など、お客様にご満足いただける“品質”を規定しました」

更に、ユーザーインターフェースのシステム開発を担当する池崎翔さんを中心に、実際の業務で使用するための摩耗予測モデルを用いたタイヤの交換日予測を見える化するツールの開発が進められた。池崎さんは、従来のシステム開発とは進め方が大きく異なると話す。「従来は必要な機能が固まってから開発に移るのですが、このプロジェクトでは、迅速に開発を進めるために、JALさんに実際に使っていただきながら、出てくる要望にスピーディーに対応して改修を行う必要があり、特に瞬発力が必要でした」

こうして2019年8月から、JALの伊丹空港のタイヤ在庫管理チームによるトライアルが始まった。並行して、データ分析を担当する

当する花田さんが摩耗予測モデルにAIによる機械学習を取り入れて予測精度を高める検討を続けるなど、小規模のチームでスモールスタートし、実用化に向けてスピーディーに課題を洗い出し改善することで、より良いサービスへと磨きをかけていった。

そして2020年2月には、伊丹空港のJALの整備チームやメンテナンス計画チームも加わり、より大規模なトライアル運用を開始。期待していたタイヤ交換の作業効率化と在庫削減のベネフィットを実証することができた。

プロジェクトを 結実させるために

2020年3月から、トライアル運用と並行して、営業担当の松本宣盛さんは実用化に向けたJALとの契約締結へと動き出した。トライアルで確認された航空機のタイヤ交換の効率化と在庫削減の効果を継続して提供するためには両社でサービス契約へと落とし込む必要があるからだ。

松本さんは「大切なのは、『このサービスによってどれほどの効果が生まれている

のか』という共通認識をJALさんの関連部署の間でも共有いただくことです。そのために“透明性”を意識して、プロジェクトの概要や摩耗予測モデルがもたらすコストメリットなどをわかりやすく伝えるよう心がけました」と話してくれた。最終的に、このサービスで生じるベネフィットとコストの両方をJALとブリヂストン双方でシェアする仕組みを構築したことで、契約締結、サービスの実用化に至った。

お客様と共に創り上げた 新しい価値

本プロジェクトは、2020年5月に伊丹空港でサービスの実用化を迎えた。しかし、タイヤの摩耗予測モデルはまだ改善の余地があると同時に、E170とE190だけでなく別機種への適用拡大、羽田空港や成田空港への拡大も進められており、今後更なる発展が期待されている。

このプロジェクトについて、プロジェクトリーダーの戸田さんは「スピード感をもって進められた大きな要因は、『こうしたい・ありたい』というJALさんの“高い改善意識”です」と話す。「結果が得られるか

分らない状況でも、『改善できることは絶対にやっていくべき!』とプロジェクトを常に正しい方向へ導いてくれました。JALの皆さんと打ち合わせをすると、自分たちも『実現できる! 実現したい!』と毎回ポジティブな気持ちになるんです。そのエネルギーをもらうためにも、結構な頻度で事務所にもお伺いしていました。迷惑だったかもしれませんが…（笑）。その点でも、このプロジェクトはまさに“価値の共創”という言葉がぴったりだと思います」

あわせて戸田さんは、今回集まったブリヂストンメンバーの一人ひとり、そしてチームワークがあったからこそだと語る。「このプロジェクトは、従来とは異なる新しいスタイルで進んできました。例えば、ブリヂストンにおける一般的なプロジェクトは、“あの部署がコンセプトを作って、次はこの部署が計画して、その次はこの部署が開発して…”というように、バリューチェーンに沿って与えられた役割、与えられた流れで進んでいくイメージですが、今回はコンセプト、摩耗予測モデル、ユーザーインターフェースのシステム、品質保証など、複数の小さなプロジェクトが並行して走り出し、各リーダーを中心としつつもメンバー全員が細かなやり取りを繰り返して、日々



B
池崎 翔さん
(ユーザーインター
フェースのシステム
開発担当)

ブラッシュアップが行われていきました。各自が課題を見つけ、提示し、それをメンバー全員で解決していく。各々が自分の頭で考えて自発的に行動する姿勢が、プロジェクトの進化を支えているのだと思います」

お客様と共に課題を解決し、新しい価値を創り出すブリヂストンの新しいソリューション事業のあり方を示した今回のプロジェクト。お客様目線でお客様の困り

お客様と共に創り上げた航空機タイヤソリューション サステナブルなソリューションカンパニーへ、「第三の創業」の新たな一歩

ごとを理解し、タイヤに関する知見と独自のデータ解析技術、そしてチームワークによって新たなソリューションサービスが生まれました。

ブリヂストンが目指すのは、今回のJALとの共創プロジェクトのように、お客様と共にお客様の生産性、収益性など顧客価値を創造すると同時に、環境負荷の低減やより安全・安心なモビリティシステムの実現など社会価値を生み出すソリューション事業だ。そして、ソリューション実現のカギとなった顧客密着のDNA、現物現

場のサービスやチームワーク、デジタル技術や独自のアルゴリズムを用いた解析技術はブリヂストン独自の競争優位性となる。更には、ソリューション事業の拡大によって、新たなデータ、知見・ノウハウを蓄積し、それをまたエンジニアリングチェーンを通じて商品・技術・素材の開発やモノづくりの進化へと価値を増幅させていく。これが、ブリヂストンが目指すサステナブルなソリューションカンパニーへとつながっていくのだ。



B
松本 宣盛さん
(営業担当)



担当役員からのメッセージ

「リアル」と「デジタル」を融合させ、新しい価値を創出

(株)ブリヂストン
常務執行役員
G-MICAAソリューション事業管掌
G-MICAA: Global Mining・Industrial・Construction・Agriculture・Aviation Solution Business
草野 智弘さん

今回の航空機用タイヤソリューションは、文字通りJALさんとの“共創”によって実現しました。航空機整備という現場でお客様の目線でオペレーションを理解し、課題は何か、どうすれば解決できるか、メンバー全員がお客様と一緒に考え取り組んだ結果だと思っています。また、JALさんから提供いただいた貴重な航空機のデータをブリヂストンのタイヤの知見、デジタル技術と融合させることで、これまでにない新しい「価値」が生まれました。今回の成果は、「リアル」な現場力と「デジタル」技術を組み合わせたブリヂストンならではの強みを発揮し、ブリヂストンが目指すソリューションビジネスを形にした偉大な一歩であります。JALさんをはじめプロジェクトを担当してくれた実務チーム、法務、知財面から戦略的なサポートしてくれた仲間とそのチームワークを心から誇りに思います。

このようにG-MICAAソリューション事業では、断トツの商品を基軸にタイヤデータ、車両データを活用することで、新たな「価値」を創造し、お客様や社会に「高付加価値」を提供するソリューションビジネスをグローバルに展開しています。先日、鉱山ソリューション事業では、断トツの新商品である「Bridgestone MASTERCORE」の発売を発表しました。この断トツの新商品に、鉱山車両用タイヤのスペシャリストであるソリューションエンジニア、マイニングソリューションセンターという現場密着型の「リアル」のサービス拠点、そしてiTrackソリューション事業という「デジタル」を組み合わせることで、鉱山事業者様の生産性と収益性の向上ひいては資源生産性に貢献し、顧客価値・社会価値の向上に努めていきます。

「Bridgestone 3.0（第三の創業）」において、ブリヂストンがサステナブルなソリューションカンパニーへと進化していくために、一人ひとりが社会・お客様の目線で困りごととは何かを考え、それを解決するソリューションを創り出していきましょう。

JAL様発！

安全でおトクにご利用いただけるサービスをご紹介します！



JALさんとの新しい価値を共創するプロジェクト、今後の進展も楽しみだね！
ところで、普段から僕たちが飛行機で出張する際にお世話になっているJALの小田さんと藤本さんに、国内出張で使えるおトクなサービスを紹介してもらったよ！

はじめまして。こんにちは、アロー君。JALの小田と藤本です。
ブリヂストングループ従業員の皆さんが国内ご出張の際にご利用いただける、**JALオンライン**のキャンペーンをご紹介します。皆さんもぜひご利用ください！

JALオンラインとは

JAL オンラインは、契約企業様限定のプログラムです。ブリヂストンの現役社員であれば利用可能で、JAL オンラインに社員登録することで各種サービスが受けられます。社員登録などの詳しい方法については、ブリヂストンビジネスサービス国内線担当までお問い合わせください。



日本航空(株)
本店 法人販売部
VIP担当セールス
小田 奈央さん

日本航空(株)
本店 法人販売部
アカウントセールス
藤本 龍太郎さん

安全にご利用いただくために

JAL では、皆様に安全にご利用いただくために、新型コロナウイルス感染防止対策を行っています。皆様にもご搭乗前の検温などのご協力をお願いいたします。

**JALグループの安全と安心への
最新の取り組みはこちらから！➡**



JALオンライン[※]限定 みんなでクラス Jキャンペーン

JAL オンラインで国内線出張をご手配された場合、普通席と同額でクラス J をご利用いただけるキャンペーンです。クラス J は、「くつろぎ」を極めた快適シート。調節可能なヘッドレストおよびレッグレストを装備し、ゆとりの座席間隔でおくつろぎいただけます。

キャンペーン期間…2021年3月27日（土）ご搭乗日まで。

ただし、2020年12月25日（金）～2021年1月3日（日）のご搭乗分は、キャンペーン対象外です。

詳しくは下記 Web サイトをご確認ください。

<http://www.jal.co.jp/jalonline/campaign/classj/>

※空港にて普通席のご予約をクラス J にアップグレードする場合（空席待ちを含む）は、キャンペーンの対象外となります。
また、キャンペーンが適用された航空券をお持ちの場合も、便の変更などにより普通席に変更するとキャンペーンの対象外となります。
空港で再度クラス J にアップグレードする場合（空席待ちを含む）は、空港にて差額のお支払いが必要となりますので、ご注意ください。



JALオンライン専用運賃 eビジネス

「e ビジネス」は、出張に最適な JAL オンライン専用運賃です。当日まで予約できていつでも変更可能なので、急な出張にも、おトクで便利にお使いいただけます！

※空席があれば「みんなでクラス J キャンペーン」もご利用可能です。

おトクな割引率[※]

例）2020年9月1日～2020年10月24日の場合

東京→大阪 大人普通運賃 25,700 円 → 「e ビジネス」運賃 16,250 円

※期間および路線ごとに割引率は変わります。

ところで藤本さんと小田さんは、普段のお仕事でブリヂストンとどのように関わっているんですか？

私は法人営業担当で普段、ブリヂストンビジネスサービスさんにお世話になっています。ブリヂストングループ従業員の皆さんの国内外の出張手配のお手伝いをしています。

役員の皆様空港や機内で快適にお過ごしいただけるよう、秘書の方からご意向を伺い、JAL 関連部署と連携しながらサービスをご提供しています。



萩野選手×ブリヂストングループ従業員 オンラインふれあい会を開催



9月9日、(株)ブリヂストン オリンピック・パラリンピック室主催で、ブリヂストン・アスリートアンバサダーの萩野公介選手とブリヂストングループ従業員の「オンラインふれあい会」が開かれました。誰でも参加できる「マスセッション」には全国から276人が参加し、萩野選手に(株)ブリヂストン 関工場・タイヤ実験部 ORタイヤ試験課(防府OR試験センター)・ブルーピンググラウンド、ブリヂストンタイヤソリューションジャパン(株)茨城カンパニーの4拠点について、クイズを交えながら紹介しました。またQ&Aセッションでは萩野選手の好きな『名探偵コナン』に関する質問も飛び出し、会は終始和やかに進行了。

その後行われた「限定セッション」には、8月に開催されたオリパラクイズ王(萩野公介選手特集)の入賞地区などからグループ従業員とその家族約40人が参加し、萩野選手と直接対話しました。水着にスイミング

キャップをかぶったお子さんなど、ご家族と参加した方も多く見られ、アットホームで一体感あふれる時間を過ごしました。萩野選手は水泳を習う子どもたちの質問に答えたり、大きな決断に悩んでいる参加者の相談に乗り、人生の先輩としてアドバイスしたりする場面もありました。

11月初旬には、第2回オリパラクイズ王の開催も決定! Webなどで告知していきますのでぜひご参加ください。



防府OR試験センターからの中継の様子

いつも応援してくれる ブリヂストングループ従業員の皆さんへ

無観客試合で声援を直接感じる事ができない中で、今回オンラインで全国の従業員の方々と触れ合うことができ、とても力になり、改めて応援のありがたさを実感しました。このような時期だからこそ、こうしてみなさんと触れ合えたことをとてもうれしく思います。各地の紹介をしていただいて、とても楽しい時間を過ごすことができました。皆さんとお話することによって、チームブリヂストンの一員だなということを改めて強く感じることができましたし、明日からの練習も一層身が入って、いい練習ができると思います。ありがとうございます。

「オリパラクイズ王」企画で集まった従業員の皆さんからのメッセージとともに



当日の様子を動画で配信中!

Web版Arrowでは、ふれあい会の様子をより詳しくご紹介しています。実際の動画も視聴できますので、ぜひご覧ください。



(ID: bridgestone パスワード: arrow)

オリンピック・パラリンピック施策に関するご意見は、
(株)ブリヂストン オリンピック・パラリンピック室まで
✉ olympic.headoffice.bsj@bridgestone.com



こんにちは
アローです!

今回は東京都中央区に本社がある、ブリヂストンタイヤソリューションジャパン(株)の久米社長にお話を伺います。「こんにちは久米さん、今日はよろしくお話しします!」

久米さん Information

ブリヂストンタイヤソリューションジャパン株式会社
代表取締役社長
くめ しんご
久米 伸吾

趣味 ゴルフ、スポーツ観戦、園芸(観葉植物・野菜)。
(園芸は最近目覚めた趣味。土選びから収穫まで、楽しみながらやっています)

幼少時代の将来の夢 昔風の喫茶店のマスター。
(今も変わらない夢です)

朝一番にすること 歯磨きしながら、野菜の害虫確認と水やり。
(育てている植物の葉の裏を見て、虫がついていないかなどをチェックします)

リフレッシュ方法 園芸と洗車。
(以前はおいしいもの・お店探しでしたが、COVID-19の影響で休日の過ごし方が変わってきています)

座右の銘 「何事にも前を向いて、そして楽しく生きる」
(生来の気性もあり、ネガティブなことは考え過ぎないようにしています)

ブリヂストンタイヤソリューションジャパン株式会社

住 所 東京都中央区京橋一丁目12番2号
URL https://www.bridgestone.co.jp/group/bti/
概 要 2012年設立。自動車タイヤ・チューブ・フラップの販売、自動車関連部品および用品の販売を行う。

Q1 上の写真の書はどんな経緯で 手に入れたものなんですか?

ある販売店さんから、正月の書き初めとしていただいたものです。書かれている「吉祥受福」は「良い兆しを受けて、福が訪れる」という意味ですが、「思うようにいかない苦しい時でも、先には必ず良いことがある」ということを示唆していて気に入っています。

Q2 久米さんのモットーを 教えてください!

座右の銘にも書きましたが、常に前を向いて楽しむ姿勢を持つことと、笑顔を絶やさないことを心掛けています。私自身、子どもの頃から「悩んでいる顔を見たことがない」と言われるような性分なのですが(笑)、何事にもめげず、前向きに取り組んでいれば必ず良い結果にたどり着くものです。

Q3 これまでの業務の中で 印象が大きかった出来事は 何ですか?

自分にとってのターニングポイントは、2012年にブリヂストンタイヤジャパン株式会社の北日本支社に配属された時です。

降雪期にはタイヤ点検・交換のため多くのお客様が来店されます。その際の販売店各スタッフのきめ細やかな対応や夜遅くまでの交換作業の様子を目の当たりにし、“現場の力”を肌で感じるとともに圧倒されました。直近のCOVID-19の影響下で“お客さまの安全を第一に、稼働を止めない”ことと“感染を広げない”ことを並々ならぬ工夫と努力で両立させている販売店の皆さんに対しても同様で、その熱意と真摯な姿勢には、大きな感謝と尊敬を抱いています。

Q4 会社として進めている 取り組みを教えてください!

2020年10月1日付で、当社はブリヂストンタイヤソリューションジャパンへと社名を変更しました。これは、従来のタイヤの卸販売事業に加え、ブリヂストングループが中長期事業戦略で掲げているソリューションビジネスを成長事業として展開していく決意表明です。リブレイス市場ではトラック・バス用タイヤを中心に、新品とリトレッドタイヤを組み合わせ、お客様の使用状況に合わせたサービスを展開してきましたが、今後はタイヤの解析・予測技術を活用し、サービスの更なる進化を進めていきます。また、乗用車用タイヤでも“優れた商品を売る”ことに加え、最適なタイヤのご提案や、タイヤ館独自の技術に基づくサービスおよびメンテナンス、タイヤを上手に使っていただくためのアドバイスも含め、包括的なサービスをパッケージとして構築していきたいと考えています。eコマ

スを導入するなど、サービスの提供方法自体の変革も進めており、昨年Amazonでタイヤ館の取り付けサービスを基軸にしたパッケージを提供したところ、多くのご好評をいただきました。新しい分野でも失敗を恐れずに、スピード感を持って取り組むことが大切と痛感しています。今後は更にお客様のニーズを研究して品質を高め、従来からのブリヂストンの強みである“断トツの商品、サービス、サービスネットワーク”を組み合わせながら挑戦を続けていきます。

Q5 若いグループ従業員の皆さんへ、 アドバイスををお願いします

私の経験から言えることは、「いろんな所に行って、いろんな経験をする事が重要」ということです。私はリブレイスタイヤ販売から広報、グローバルブランド戦略、化工品事業と、多種多様な部署を経験してきました。特にグローバルブランド戦略部に異動した時は、ほぼゼロからのスタート。50歳を超えていたので、「この年代で、こんなに一から勉強することがあるのか」と愕然としたことを覚えています(笑)。しかし、そういった経験は何物にも替えがたく、意識次第では別の業務に役立てることも可能です。もしチャレンジの機会を見つけたら、皆さんもぜひ若いうちから手を挙げて、積極的にトライしてみてください。



「未来へ向かうブリヂストンの旅を体感する 企業博物館」

Bridgestone Innovation Gallery

オープン

東京都・小平市にあった企業博物館 ブリヂストンTODAYが、9月15日に「Bridgestone Innovation Gallery (通称：BIG)」としてリニューアルオープンし、ブリヂストングループ従業員の皆さんと技術センターを訪れるビジネスのお客さま向けに限定公開されています。BIGは、ブリヂストングループのこれまでの歩みやDNA、事業活動、さらに未来に向けた活動などをご紹介します企業博物館です。なかなか近くまで足を運べない…。そんな読者の皆さんに、装い新たなBIGのハイライトをお届けします！



生まれ変わる小平で、新たな価値を創造



株式会社ブリヂストン
執行役専務(技術・品質経営分掌)
Global CTO 兼 開発管掌
坂野 真人さん

自動車業界が100年に一度と言われる大変革期を迎えるなか、ブリヂストンは新たな価値を創造し、持続可能な社会の実現に貢献するため、さまざまな変革を推進しています。それを実現するグローバルでの拠点として小平に開設するのが、ブリヂストン イノベーション パーク (BIP) です。その中でBIGは、社内外の皆さんが、ブリヂストンを知り、深くつながり、一緒に新しい価値を創るきっかけを生み出す——。そんな場所になってほしいと考えています。

現在はブリヂストングループ従業員および技術センターを訪れるビジネスのお客さまに向けたプレオープン中。一般向けの公開は11月末予定です。詳しくは11月に公開予定のBIGウェブサイトをご確認ください。

ブリヂストンの今、昔、未来を体感

館内は大きく下記4つのゾーンに分かれています。

WHO WE ARE 挑戦の歩み

創業時から受け継がれるブリヂストンのDNAを紹介するエリア



◀ ブリヂストンで作られた「創業当時のタイヤ」のレプリカも展示。他にもゴルフ用品や昔の広告など、歴史を彩る展示を楽しめます

WHAT WE OFFER モビリティ社会を支える

ブリヂストンが幅広い商品やソリューションを通じてモビリティ社会を支えていることを理解・体感していただくためのエリア



▶ Bridgestone T&DPaaSがどのように社会・暮らしを支えているか、プロジェクションマッピングでご紹介します

HOW WE CREATE 創造と共創

暮らしやビジネス、スポーツなど、幅広い分野で社会やお客様の課題解決を目指す、イノベーションを紹介するエリア



◀ ゴルフのスイング解析など、体験できるコーナーがあるのも目玉の一つです

WHERE WE GO 新たなチャプターへ

「人々がより快適に移動し、生活し、働きそして楽しむことに貢献する」という想いを実現するため、新たなチャプターへと挑むブリヂストンを紹介するエリア



▶ BIGから技術センターへとつながる通路は「リアル」な新技術と「デジタル」な映像の2種類の展示で、ブリヂストンの想いを表現しています

Bridgestone Innovation Gallery 館長 森 英信さんからのメッセージ



「ブリヂストンのファン」になるきっかけ作りの場に

旧ブリヂストンTODAYが「ブリヂストンの過去から現在」を表していたのに加え、BIGでは「ブリヂストンがどんな方向に向かっていくのか」という未来も示しています。ブリヂストングループの従業員の皆さんでも、新技術や新しいビジネスモデルなど「点」で知っていることはあっても、「それがブリヂストンの戦略や未来とどうつながるか」まで理解するのはなかなか難しいのではないのでしょうか。BIGは、来館される社内外の皆さんに、モビリティ・人々の暮らし・環境を支え続けるブリヂストンをまるごと理解し、「ブリヂストンのファン」になっていただくきっかけ作りの場にしたいと考えています。ここで生まれた共感をもとに、多様なステークホルダーの方と共に考え、研究し、新しい価値を創り出す——文字通り、その入口となるのがBIGです。感動していただけるよう準備をしましたので、ぜひ機会があれば足を運んでみてください！

Information



開館時間	月曜日～土曜日 10:00-16:00 (入館は15:15まで)
休館日	日曜日・祝日 ※夏季・年末年始および臨時休館日があります。11月の一般公開後、BIGウェブサイトでお知らせしていきます。
入館料	無料 一般開放後は、どなたでも自由に見学可能です。ガイドツアーも行っているのので、お気軽にお問い合わせください。
アクセス	〒187-8531 東京都小平市小川東町3-1-1 西武国分寺線 小川駅東口より徒歩5分

工場入場時の安全ルール！

ー安全はすべてに優先するー

ブリヂストングループの「安全宣言」では「安全はすべてに優先する」「安全は私達ブリヂストンの企業経営の基盤です。安全な職場で安心して働くために一人ひとりが実践します。」と定められています。

今回は普段オフィスなどで働いている皆さんに向けて、工場に入る際の知っておくべき安全ルールをご紹介します。安全ルールは、工場に入る方の安全を守るためのものです。お客様を工場にご案内する際も、ブリヂストンの「安全宣言」をご理解いただき、構内順守事項をご確認いただいたうえで、工場にご案内しましょう。

※安全ルールは工場によって異なる部分もあるので、訪問先の工場に確認しましょう。

！工場に入るときの正しい服装、知っていますか？

- 基本は“作業服”、“安全帽”、“安全靴”が必要です。

※見学ルートのみ通行する場合は、動きやすい服装・靴でもよい場合がありますが、ヒールやサンダルはNGです！

- 作業服は襟を立てない！上着の前ボタンおよび袖ボタンはしっかり留める。
- ズボンは裾が床に付かないよう、しっかりベルトで固定する。
- ズボンの後ろポケットから、タオル等を垂らさない！
- 帽子は真っすぐ深く被る。
- 工場ルールに従い、ヘルメットや保護メガネ、耳栓を着用する。

※その他工場によっては、くるぶしソックスもNG場合があります。



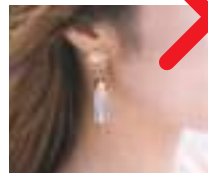
！工場に持って入れないもの

- カメラ付き携帯電話やスマートフォン

機密保持のため撮影は禁止です。携帯電話等を持って入る際は、カメラのレンズ部分にBマークのシールを貼りましょう。

- プラスチック製のボールペンやその他筆記用具

ペンが必要な場合は、工場ルールに従い、指定の金属製のボールペンを使用しましょう。異物混入した際に、金属製であればX線検査で見つけることができます。その他、ピアスや指輪などのアクセサリをつけたままでは、入れない工場もあります！



！工場内で注意すること

- ① ポケットから手を出して歩く。
- ② 走らない。
- ③ 歩きスマホはやめましょう。電話がかかってきた場合は、安全な場所に立ち止まって、電話に出ましょう。
- ④ 階段は、手すりを持って！
- ⑤ 曲がり角や出入り口など見通しの悪い場所や、足型マーク、一時停止位置では必ず左右の確認を行うこと。右ヨシ！左ヨシ！
- ⑥ 工場内は、原則的に撮影禁止。
- ⑦ 危険領域である安全柵の内側やオレンジライン内には立ち入らない！
- ⑧ 作業員に近づいたり、設備や材料、製品を勝手に触らない。
- ⑨ 横に広がって歩かない。



！お客様を工場内にご案内する際の注意点

お客様の安全を確保するためにも、

「安全はすべてに優先する」というブリヂストンの安全宣言をご説明し、ご理解いただきましょう。

工場によっては、入場前に受付などで「安全宣言」「構内順守事項」をお客様にご理解、ご承諾いただく必要があります。



構内順守事項（例）

- ① 構内ではポケットから手を出して歩行してください
- ② 書類の確認や携帯電話・スマートフォンのご使用は、立ち止まって行ってください
- ③ 足型マークのある場所では、左右の安全確認を行ってください
- ④ 構内での車両運転時、制限速度を順守してください
- ⑤ 構内での車両運転時、交差点への進入時は、徐行又は一時停止を行ってください
- ⑥ 工場内に入られる時は、ヘルメット又は作業帽を正しく着用してください

署名が必要になります！



企業理念 通信

ブリヂストングループ行動規範の MY CODE “マイコード”

2018年に定められた「Bridgestone Code of Conduct（行動規範）」は、コンプライアンス上の問題に対処するための実践的なガイダンスを示すものです。企業理念やグローバルCSR体系「Our Way to Serve」、その他の会社の基礎をなす方針や考え方に沿って策定されています。行動規範に定められているルールや期待される行為は、ブリヂストングループ従業員の皆さんはもちろん、世界中のあらゆる拠点で共に仕事をしているお取引先様をお願いしたい事項でもあります。

行動規範に定められているルールを改めて振り返ろう！

下記5つのテーマで、業務上でよく起こりそうな状況と、それに対する望ましい考え方が紹介されています。

誠実に行動するために

行動規範の目的、適用範囲、誠実さのセルフチェックなど

職場で

誠実であるために

多様性の尊重や、安全衛生、コミュニケーションの大切さなど

事業活動で

誠実であるために

製品の安全性、品質や、お客様・お取引先様との関わり方など

日々の業務で

誠実であるために

会社の資産を保護するため、機密情報や内部統制ルールなど

地域社会で

誠実であるために

環境への取り組みや、社会貢献活動など

一人ひとりが考え、守る。MY CODE PROJECT 推進中！

行動規範に馴染みの薄い日本独自の取り組みとして、行動規範を周知・浸透させるための "MY CODE PROJECT" が進められています。研修やイベントなどを通じて、ブリヂストングループの従業員の皆さんに行動規範を「自分事」として考えていただくプロジェクトです。

プロジェクト名に込められた思い

- ・ブリヂストングループ従業員の皆さん一人ひとりに私の（MY）行動規範（CODE）として考えてほしい
- ・英語のCODEには遺伝子の意味があることから、この行動規範を皆さんの誠実な行動を支える遺伝子として根付かせたい

my CODE
PROJECT

昨年には（株）ブリヂストン技術センターで、グループ従業員の皆さんを対象に行動規範に関連したクロスワードと、自身で“CODE”と記入したパネルを持って写真撮影をするイベントを開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で他地区での開催状況は未定ですが、今後も“MY CODE”を旗印に、皆さんに行動規範について考え、話し合っていたく機会が提供されます。



my CODE

PROJECT

皆さん一人ひとりの行動で、

行動規範は完成します

株式会社ブリヂストン 法務室長

宮村 文祥さん

行動規範には、たくさんのテーマが含まれていますが、一人ひとりの業務内容によって重要性や優先順位は変わります。行動規範は会社だけのためにあるのではなく、ブリヂストングループの14万人を超える従業員の皆さん一人ひとりの毎日を支え、守るために存在します。

eラーニングや職場研修、そして“MY CODE PROJECT”を通して、ぜひ皆さんに行動規範について考え、仲間と話し合い、実践していただきたいと思います。



ブリヂストングループでの「行動規範」進捗状況

2019年に国内グループ従業員の皆さんを対象にして行った調査では、下記のような結果が出ています。

認知拡大中！

認知率について、グループ全体で「行動規範という名前を聞いたことがある」と答えた方が97%、「どのような内容か知っている」と答えた方が74%となっており、グループ内で確実に浸透が進んでいます。

「行動規範」を順守

「行動規範」で違反するリスクが高そうな内容についてアンケートを取ったところ、「パワーハラスメント」が63%と突出しており、次いで「ハラスメント（セクハラその他）」「プライバシーや個人情報」「コミュニケーションと情報共有」「秘密情報保持」といったテーマが挙がっています。リスクを抑えるためには、グループ従業員の皆さん一人ひとりの「行動規範」の内容理解の促進と実践が不可欠です。



4工場 記念周年を迎える

⚙️… 操業開始時期 📍… 所在地

50周年

(株)ブリヂストン 下関工場

⚙️ 1970年6月 📍 山口県下関市



操業開始時（左）と、現在の下関工場（右）



初荷式の様子

建設・鉱山車両用（OR）タイヤの専門工場として誕生。当時の従業員数は約140人で、国内のタイヤ工場では初めて「4班3交替制」を導入しました。



佐々木 康博さん

工場長より

世界中がコロナ禍で混乱しているなか、下関工場は今年6月に50周年を迎えることができました。さまざまなタイヤの中でも特にシビアな品質が要求されるORタイヤの生産工場として、断トツ商品を供給し続け、鉱山現場のお客様、下関近隣の地域の方々、そして何より工場で働く仲間やそのご家族の皆さんから必要とされ、親しまれる工場であり続けることを目指しています。



昔と比べ、変わったと感じることはありますか？

安全・防災・改善標準室
山坂 俊昭さん（1981年入社）

技能員の体型が変わり、筋肉質な人から線の細い人が増えたと感じます。製造設備の自動化が進み、肉体労働が以前よりも減ったためだと思います（ORタイヤの製造はまだまだ手作業が多いですが）。また、工場内で久留米弁が聞こえなくなりました。操業開始時は、工場立ち上げのために来られた久留米出身の職長さんがたくさんいらしたのです。

50周年

(株)ブリヂストン 鳥栖工場

⚙️ 1970年7月 📍 佐賀県鳥栖市



操業開始時の鳥栖工場



第1号タイヤ生産を記念して

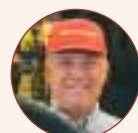
ブリヂストンで初のラジアルタイヤ専門工場として誕生しました。現在鳥栖工場の略称として使われる「R工」のRは、この「ラジアル」が由来。当時の従業員数は約300人、生産本数は日産1,200本でした。



八巻 一彦さん

工場長より

「鳥栖の誇りと責任で極めるプレミアム品質 お客様から末永く信頼される工場へ」をミッションに、これまでに約3億8,600万本のタイヤを生産してきました。先人から脈々と続く改善のDNAをリアルとデジタルでさらに磨き上げ、次の10年、20年…この世にモビリティがある限り、それを支えるモノづくりを行っていきます。



品質保証課
木下 保さん（1974年入社）

昔と比べ、変わったと感じることはありますか？

入社した当時はバイアスタイヤからラジアルタイヤへの過渡期で、鳥栖工場もラジアルタイヤ専門工場として操業4年目に入ったところでした。当時はテキスタイル構造^{*}が主流でスチールタイヤ構造はほんのわずかでしたが、今ではテキスタイルタイヤと聞いても分かる人はほとんどいなくなっていました。試験業務担当としてタイヤ性能の変化も強く感じてきましたが、時速300km以上で走行できるタイヤができるとは当時は夢にも思いませんでした。
※ベルトの材料に有機繊維（レーヨン、ナイロン、ポリエステルなど）を用いたもの

60周年

(株)ブリヂストン 東京ACタイヤ製造所

⚙️ 1960年3月（前身の「東京工場」の操業開始） 📍 東京都小平市



1960年当時の東京工場外観



病院（左）と幼稚園（右）

久留米工場（福岡県）に次いで（株）ブリヂストンで2番目に誕生したタイヤ工場で、操業開始時は乗用車用タイヤのみを生産。久留米工場から約800人の従業員が転勤し、石橋正二郎社長（当時）の「東京工場といっても、実は郊外の田舎であり、久留米よりも不便だから、従業員の家族がなにも不自由なく生活し、一家の主人が安心して働けるようにしたい」という思いから、社宅・青年会館のみならず、病院、体育館、幼稚園なども設立されました。その後1962年には、技術センターが完成しました。

60周年

ブリヂストンサイクル(株) 上尾工場

⚙️ 1960年4月（前身となる「ブリヂストン自転車(株)」の工場として操業開始） 📍 埼玉県上尾市



当時の上尾工場。建物後方にあるのがテストコース



オートバイ「チャンピオン1型」

オートバイ「チャンピオン」を製造し、工場敷地内にテストコースも設置されていました（オートバイ事業は1971年5月に終了）。その後、自動車タイヤ用およびモーターサイクル用チューブ生産を経て、現在は自転車および電動アシスト自転車を製造・開発しています。



ブリヂストンサイクル（株）製造部長
川田 哲哉さん

製造部長より

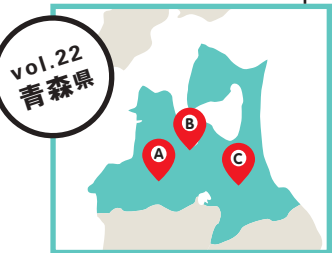
諸先輩方から受け継いできた上尾工場も60年という節目を迎えることができました。工場の周囲は田畑から住宅地へと変わり、お客様のニーズも自転車だけでなく電動アシスト自転車が増加し、移動手段だった自転車が快適さ、趣味、ファッションの一部として変化してきました。小さなお子様も成長し、ご年配になるまでずっとブリヂストンのファンであり続けていただけるよう、魅力的で安全・安心な自転車を最高の品質で作上げていくことが、変化の激しい時代にも変わらない上尾工場の目標です。



「昔から変わらない」と感じることはありますか？

製造部 製造課 塗装係
黒須 隆さん（1973年入社）

自転車の機能やデザイン性が格段に進化しているなか、高級スポーツ車は昔から変わらず塗装技能員が手吹き塗装しています。さまざまなパーツ、色をチョイスしてお客様に唯一の商品をお届けするために、オーダーメイドで製造しています。匠の領域まで訓練された腕は職人の誇りであると思っており、昔から現在に受け継がれています。



今回は、「頑固だ」「辛抱強い」「無口な方だ」「早寝早起きだ※」が県民の特徴と言われる青森県をご紹介! 事業所独自の特徴も1つ加えてレーダーチャートにし、どのくらいあてはまるかを回答いただきました!

※青森県は「平均就寝時刻(早い順)」「平均起床時刻(早い順)」ともに全国2位です(平成28年 社会生活基本調査)

県民性に当てはまることを推奨するものではありません。気軽にお楽しみください。
(参考資料:「県民性の人間学」祖父江 孝男・ちくま文庫)



プリヂストンタイヤソリューションジャパン(株) 青森カンパニー	住 所 青森県弘前市扇町1-1-2
弘前営業所	従業員数 11人

紹介者

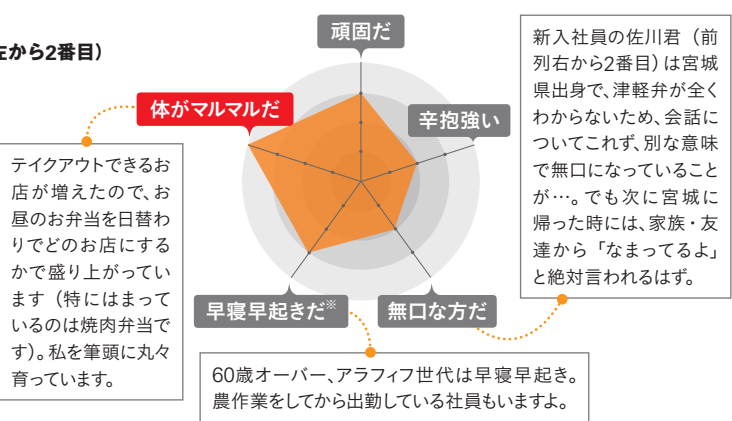
所長の今 隆雄さん(前列左から2番目)

事業・業務内容

タイヤ・自動車用品の卸販売

今後の目標

さまざまな環境下でも所員一致団結し、仕事に取り組んでいきます。また、誰もが働きやすい職場の環境づくりを心掛けていきます。



《通信員》
プリヂストンタイヤソリューションジャパン(株)
青森カンパニー 販売業務部
外崎 むつみさん

本州の一番北に位置する青森県。大迫力のねぶた祭りに、白神山地・奥入瀬溪流・八甲田など豊かな自然、りんごや大間マグロなどの豊富なグルメで、忘れられない思い出をたくさんつくるができますよ! ぜひ一度お越しください。



プリヂストンリテールジャパン(株) 東北支社	住 所 青森県青森市東大野2-11-6
タイヤ館青森中央	従業員数 6人

紹介者

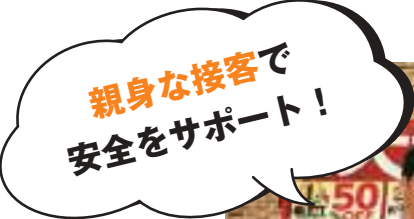
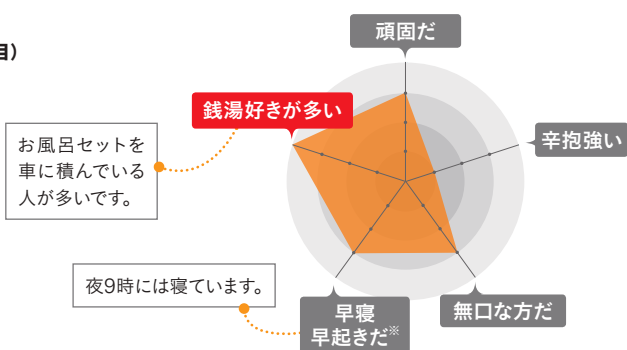
店長の佐々木 淳さん(後列左から2番目)

事業・業務内容

自動車用品の販売・取り付け

今後の目標

これからも変わらずお客様の安全・安心のために、親身な接客と営業利益黒字を継続していきます。



プリヂストンタイヤサービス東日本(株)	住 所 青森県十和田市大字洞内字井戸頭144-276
十和田店	従業員数 6人

紹介者

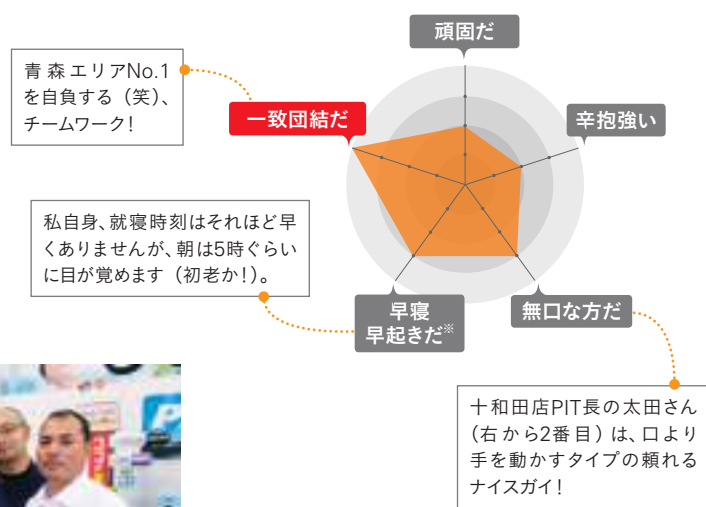
店長の野澤 卓司さん(左端)

事業・業務内容

タイヤおよび関連用品の販売、タイヤメンテナンス、出張サービス

今後の目標

安全と安心で信頼される店舗を目指し、最適な提案と作業品質でお客様の足元を支えます。



私たちが
お勧め
します!



グループ従業員の皆さんに、県内のお勧め観光スポット&グルメを教えてくださいました!

弘前公園



日本三大桜名所のひとつとして知られ、園内にはソメイヨシノを中心に約50種類2,600本の桜が咲き、花見処として有名です。お濠の花筏や水鏡に映る桜は絶景です。

プリヂストンタイヤソリューションジャパン(株)
青森カンパニー
弘前営業所
今さん

岩木山 だけ 獄さみ



岩木山のふもとで生産されている、ブランドとうもろこしです。甘みが強くとてもおいしいです。

プリヂストンリテールジャパン(株)
東北支社 タイヤ館青森中央
佐々木さん

十和田バラ焼き



B-1グランプリでもお馴染みです。

プリヂストンタイヤサービス東日本(株)
十和田店
野澤さん



ありがとうの気持ち

vol.
58

ブリヂストングループの仲間への感謝の気持ちを、リレー形式で紹介します。

謝

田さんと初めて一緒に仕事をしたのは、2003年頃だったと思います。私は営業所のセールスから大阪販売本社の自動車用品部に異動になり、アルミホイールやバッテリーをどうやって売ればいいのか、いろいろ悩んでいました。そんな時、当時チェーン運営部の責任者をされていた澤田さんから、「今度お店のスタッフを集めて消費財の勉強会をするので、その時に用品の話もしてみたら?」と声をかけていただきました。それまで大勢の人を前にして話すのは苦手でしたが、回を重ねていくうちに苦手意識もなくなり、自然に話せるようになりました。それがきっかけでその後も販売店に同行させていただき、一緒に自動車用品を販売していただいたり、小売りの基本を教えてくださいました。その後の業務を進めていく上で非常に役立ちました。現在私は単身赴任で東京勤務ですが、またいつか一緒にお仕事ができることを楽しみにしています。

きっかけを作ってくださいました



ブリヂストン
タイヤソリューションジャパン(株)
消費財マーケティング本部
消費財チャネル企画部 課長
西口 勝也さん から

Thank
You!



ブリヂストン
タイヤソリューションジャパン(株)
大阪カンパニー
消費財販売本部 部長
澤田 光則さん へ

タッグを組んだ日々は忘れません



(株)ブリヂストン
化工品基盤・先行技術開発本部
生産基盤技術開発部長
上野 哲一さん から

Thank
You!



ブリヂストンチャレンジド(株)
事業管理本部 事業部長
吐田 元さん へ

吐

田さんとお仕事で多くの時間を一緒にさせていただいたのは、1990年後半に化工品のOA商材の新商品を立ち上げた時でした。当時は新商品の供給がままならない大変苦しい状況で、販売担当の吐田さんと開発担当をしていた私でタッグを組み、日々出荷に追われていたことは今でも忘れません。苦勞のかいもあって、その後お客様の信頼を勝ち取ることができ、良い関係を築くこともできました。ありがとうございました。最近になってお仕事でまた関わりを持てるようになり、うれしく思っています。引き続きよろしくお願いします。

ご意見紹介

特集1「今、わたしたちにできること。ーwithコロナの世界を見据えて」について

- 化工品技術センターでのフェイスシールド試作に頑張っていた様子はうかがっていました。各所から感謝の言葉をいただいているようで、誇らしいです。(ペンネーム:パンダさん)
- コロナ禍で暗い気持ちになることが多いですが、Arrowで前向きに働く仲間を知ることができて、活力が湧いてきました。今後楽しみにしています。(ペンネーム:ダックスさん)

特集2「地球環境とブリヂストン・マイルストーン2030とその先の未来」について

- 開発部門に籍を置いているため、省材料でも性能を確保できる部品設計に取り組むと同時に、日々の業務でも行えるペーパーレス推進などにも取り組みたいと思います。(ペンネーム:kenさん)
- 「環境への取り組みは大切」と言いつつも、いざ業務になると、顧客要求やコストなどが優先され後回しになっている気がします。個別開発案件などでも後回しにされないよう、具体的必須事項として落とし込めないものでしょうか?(ペンネーム:SAGANTINOさん)

編集後記

- ▶ 今回の特集「お客様と共に創り上げた航空機タイヤソリューション」の取材ではJALさんにも協力をいただきました。そのやり取りのなかで、JALさんの社内報や機内誌に当社も取り上げていただけることに。11月、JALに搭乗予定の方は、機内誌を要チェックです。(TA)
- ▶ 4工場の周年記念記事(P24)のため、当時の社内報・グループ報を読み漁りました。どの記事も写真に添えら

れている説明文に感情が込められていて、思わずほっこり。Web版に掲載していますので、ぜひ注目してみてください!(SN)

- ▶ 今回が2020年最後の発行号です。イレギュラーなことがたくさんあった年で、Arrowの裏側でもいろいろなドラマがありました…。どうか皆さんお体にはお気をつけて、残りの期間も元気に過ごしましょう!(HO)

Present!

読者プレゼント!

JALオリジナル
ランチトートバッグ

各色5名様



※応募時はネイビーもしくはグレーのどちらか1色をお選びください。

防災手ぬぐい 20名様



いざというときの備えがイラストで紹介されている手ぬぐいです。